

事務事業名	危機管理対応能力強化事業(旧緊急連絡管整備事業)		会計	水道事業	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	水道課	H29係等名	上水道整備係	H28担当課等名	水道課	
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			
	施策	45	居住基盤の向上			
目的	対象(誰・何を)	野底浄水場 上黒田配水池系において災害時に断水を回避できる給水人口(最大)		対象指標	指標名及び単位	
	意図(どういう状態にするか)	緊急時に砂払浄水場から上黒田配水池系の使用水量の全量バックアップを可能とし、断水を回避する。			28年度数値	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度			断水を回避できる給水人口(最大)=1,700(m ³ /日)÷0.314(m ³ /人・日)=5,500(人) 0	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	事業進捗率(%)=単年度事業費(累積)÷総事業費		0	5	17
	成果指標					14
	定性目標			備考(指標変更など)		
事業概要	野底浄水場上黒田配水池系の安定強化を図るため、砂払浄水場から下黒田配水池を経由しないで使用水量全量の送水を可能とする、今宮中継ポンプ場の整備を進める。					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	今宮中継ポンプ事業 1 水管橋詳細設計他 2 送水管φ250			1 詳細設計他(式) 2 送水管布設延長(m)		1 1式 2 867.9m
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		28,991	72,000	53,276	0	(起債)上水債
国庫支出金						
県支出金						
起債		21,100	54,000	39,300		
その他						
一般財源		7,891	18,000	13,976		
人件費計(千円)②		3,576	3,576	3,576	0	
正規職員所要時間		1,000	1,000	1,000		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		32,567	75,576	56,852	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	送水管の布設工事及び水管橋詳細設計について、計画的に進めることができた。					
改革改善の考え方	①問題点	事業箇所において、他の事業計画との整合が必要。				
	②改革提案	工事に伴う、舗装工事について手戻りをなくすことまた、同時施工によるコスト削減のため、関係部署との調整を図る。				